



むなかた市議会だより

平成25年6月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報調査特別委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=<http://www.city.munakata.lg.jp/shinai/gikai/gikai-index.php>
●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

議員報酬4%減額 市長5%、職員3%減額

賛成多数で可決

6月定例会では、市長など三役給料と職員給料を減額する議案が提案されました。

これは、東日本大震災の復興財源を確保するために、国が地方自治体に対し、地方交付税交付金を削減すると同時に、職員給料の削減を求めたことが背景にあります。

市は、市民サービスを低下させないために、給料などの減額を行って交付金削減分を補うこととしました。

議会は、給与減額に関する議案を、いずれも賛成多数で可決しました。

本会議での主な意見

(反対意見)

・三役給料は報酬審議会が審議している。今回の減額は国からの圧力によるもの。地方の根本的な問題に国が介入することに問題がある。
・国からの職員給与引き下げの要請に対し、市長は職責をかけて反対すべき。議会で指摘した事業費を凍結、削減しても市民の理解は得られる。

(賛成意見)

・東日本大震災からの復興を最優先に考え、国家公務員も昨年から7.8%の給与を削減。交付税の削減分を給与減額で対応しなければ、市民サービスの低下を招く。市長は苦渋の決断をしたと考えられる。

定例会最終日には、議員報酬の減額が議員提案されました。

「議員報酬は国の圧力の中で減額するのではなく、別に議論すべき」「三役と同じ減額率にすべき」という反対意見もありましたが、賛成多数で可決しました。

内容	減額率	減額見込額
議員報酬	▲4%	323万円
市長、副市長、教育長給料	▲5%	100万円
職員給料	▲3%	6,100万円
職員管理職手当	▲5%	200万円

期間は25年7月から26年3月まで

議会へのご意見 ありがとうございました

3会場で
計110人参加
(5月21日～23日)

今年で5回目となる議会報告会では、議会から3月定例会で可決した25年度予算の説明後、「これからのまちづくり」をメインテーマに意見交換。参加者からは質問や意見が次々と出され、有意義な2時間となりました。

議会では、みなさんからいただいた意見を、これからの議会やまちづくりに生かしていきます。



東郷コミセン 赤間西コミセン 玄海コミセン

議会報告会での主な質疑・意見

- ◆議会、議員に対して
 - ・議会報告会を年10回くらい開催して市民と一緒にまちづくりに取り組んでほしい。
 - ・議会報告会のPR不足ではないか。
 - ・議会報告会を女性が参加しやすいように昼間の時間にしたり、回数を増やしたりしてほしい。
 - ・市民は議員に頼むばかりではなく、提案をするべき。
 - ・議員は現場を見て現状を確認してほしい。
 - ・議会、議員によるインターネットなどを活用した情報発信を望む。
 - ・議員もフェイスブックなどを活用して市民に身近に感じる取り組みを行ってほしい。
 - ・宗像市の個性を生かしたまちづくりを議員にも研究してほしい。
 - ・議員定数は減らせばいいものではない。人口の少ない地域の意見も反映しなければならない。発言しない議員を選んだのはわれわれ有権者の責任でもある。

- ◆福祉・医療・子育て
 - ・男性の介護者が息抜きをしたり、集まることができる場所を作してほしい。
 - ・子育て世代の転入者が情報を得られるように、市役所に子育てコンシェルジュ（専門案内人）を置いてほしい。
 - ・高齢者の命、健康を守る観点からすると、国保の値上げは高齢者には大打撃。値上げについて議会の考えは。
 - ・12年間で国保税を見直さなかったことをどう思うか。段階的に見直しを行う必要があったのでは。
 - ・生活保護世帯より70歳以上の年金受給者のほうが生活水準が低くなることをどう考えるのか。
 - ・高齢者、身障者が安心して暮らせるまちづくりをお願いしたい。それを次の世代の子どもたちにつなごう。

- ◆コミュニティ
 - ・まちづくり交付金は、均等割、人口割、面積割があるが見直しはできないか。
 - ・市からの交付金は、各コミュニティが行政と協議していく必要がある。
 - ・自治区の再編を考えてほしい。

- ◆まちづくり全般
 - ・人口は10年～15年前から変わっていない。宗像に住んでもらえるようなまちづくりを行ってほしい。
 - ・合併後も過疎化が進んでいる地区がある。同じ市なので平等に状況を見てほしい。
 - ・観光客ではなく、定住する人を増やすべき。
 - ・人口が減少していく中で宗像市をどう作っていくかが大切。漁業、農業で生活するのは困難な状況。観光という何にもならない。地産地消、循環型の魅力あるまちづくりを行うべき。
 - ・三世代で住む家を建てたいと思っている人もいる。建ぺい率、容積率は緩和できないか。
 - ・沖ノ島が世界遺産に登録されれば「宗像」という地名が有名になると思う。
 - ・市のPRのために、JR赤間駅を宗像駅に、東郷駅を西宗像駅に名称変更してはどうか。

* 議会報告会での質疑一覧などをまとめた「報告書」は各地区コミセンに配置しています。また、議会ホームページでも見るができます。

請願

慰霊塔の統合を
求める請願

【賛成多数で採択】

(請願者)
宗像市遺族連合会会長
吉田義男さん他9人

(要旨)

戦後建立された慰霊塔は、遺族会を中心に清掃や植栽管理をしているが、会員の高齢化や会員数の減少により、今後の

維持管理が心配される。また、経年劣化の著しい慰霊塔もある。そこで、①市内10地区の慰霊塔を統合し、平和祈念碑と戦没者氏名の銘板を併置すること②老朽化した慰霊塔を行政が撤去すること③戦没者追悼式を見直し、平和祈念セレモニーなどを実施することを求める。

(審査内容)

社会常任委員会では、市内慰霊塔の現地視察を行い、慰霊塔の所有権や、公金支出に対する問題点などを詳細に審査しました。

委員からは法的な問題など時間をかけて慎重に審議すべきと継続審査の提案もありましたが、賛成少数で否決。

また、別の委員からは次の意見（付帯決議）が提案され、賛成多数で可決。請願も賛成多数で採択しました。

(付帯決議の内容)

老朽化した慰霊塔の撤去については、すべての慰霊塔の所有権を明らかにし、行政が費用負担することについては、各種法令に抵触することがないよう十分に配慮すること。

本会議での主な意見

(反対意見)

・平和祈念碑を設置することには賛成。しかし、慰霊塔をどうするかは法的な問題があり、感情の問題だけで解決できない。慎重に審査すべき。

(賛成意見)

・市民が心を一つにして、先人を敬う市になるように願う。

・戦争の悲惨さを風化させないためにも、本市の新しい形での平和学習継承の在り方を考えるべき。

・慰霊塔の撤去や平和祈念碑の設置費用の負担を市民がどう考えるか、政教分離の原則に抵触しないかどうかを慎重に判断すべき。委員会の付帯決議を踏まえて賛成する。



慰霊塔（赤間地区）

ようこそ議会へ

南の風大学(南郷コミュニティ)のみなさん計77人傍聴

6月13日、14日の本会議（一般質問）は傍聴席がほぼ満席になり、議場内は緊張感に包まれました。

議会は簡単な手続きで傍聴できます。コミュニティなど団体での傍聴もできます。日程など詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



一般質問

6月12日から14日までの3日間にわたって、16人の議員が市の方針や行政事務について、合計32項目の質問を行いました。
○議員が質問を届け出た順に掲載しています
○掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています
○質問の詳細については、録画映像か8月下旬に公開予定の議事録をご覧ください

24時間営業店舗へのAED設置を

とびうおクラブ／安部 芳英

コンビニなどにAEDを設置することにより、今まで力バーできていなかった4割弱の時間帯にも命を救える機会を増やせる。

問 救命講習受講市民5万5千人の協力やリース契約による低コストなども考慮したうえで設置を求める。
答 本市でも、24年度に3人の命がAEDにより救われており、AEDの有効性、重要性は十分に認識している。しかし、既にコンビニ



AED (自動体外式除細動器)

その他の質問

市独自の公契約条例の制定を。地域通貨と有償ボランティアでまちおこし。

平均寿命から健康寿命へ

宗政会／岩木 久明

問 平均寿命より健康寿命を延ばす施策は何か。
答 予防を重視した心身の健康づくり事業である。

問 「健康日本21」としてメタボリック症候群に着目した生活習慣病対策を市はどのように具体化したか。
答 予防と改善のために生活習慣予防教室を開催するなど発症予防に取り組んでいる。

問 健康
答 予防と改善のために生活習慣予防教室を開催するなど発症予防に取り組んでいる。

問 医療費削減策として年に一度も病院に行かない70歳以上に10万円差し上げてはどうか。
答 金品を出すことは考えていない。



子育て支援施策を問う

宗像志政クラブ／伊達 正信

問 保育士・教諭不足解消のため、幼稚園・保育所と連携し、本市に中継センター的な部署を設け、潜在保育士・教諭の確保はできないか。
答 保育士の確保は、全国的にも厳しい状況。県の復帰促進の研修会、福祉人材センターの登録システムを活用していく。

問 保育所において育児休業中、保護者の職場復帰支援のため、在園児の退所を出産日から1年までに猶予できないか。
答 1年に延長することで、待機児童が発生する可能性もある。26年度から140人の定員増を実施予定であるため様子をしながら検討していく。



地場産業支援を問う

問 漁業施策の展望は。今後は、つくり育てながら、経済的利益を実現する漁業へ転換を図る時期にある。水産業が若い世代へ引き継がれるよう支援する。

漁業者の生活保障を求める

とびうおクラブ／北崎 正則

問 漁港整備の現状は。
答 神湊、地島については完了。鐘崎では長期整備計画の6割が完了。長寿命化を図る修復、整備も行っている。

問 藻場整備の現状は。
答 大島で力キ殻を使った漁礁づくり、鉄鋼スラグ入りブロック投入による藻場再生、地島沖で素焼きの陶管投入による漁礁づくりなどを進めている。



その他の質問

行政サービスを担う市職員について。地域の特性を配慮した学校の適正規模化にむけて。

魅力ある子育て支援の充実を

日本共産党／新留 久味子

問 子育て支援センター交流室の毎週土曜日開館を検討できないか。
答 今年度実施する土曜日、日曜日事業の状況を見ながら検討する。

問 地域での子育てサロンの開催回数を増やせないか。
答 運営主体はコミュニティ。地域のニーズや実情に合わせた実施をお願いしている。

問 子育てサークルが公共施設を利用するとき、会場費などを支援できないか。
答 今後検討する。子ども部窓口の託児



子ども部窓口のキッズスペース

化学物質ガイドラインを活かして

ふくおか市民政治ネットワーク／杉下 啓恵

問 3年前に策定された市のガイドラインでは、化学物質の使用をできる限り取りやめることを基本方針としている。
問 市職員への周知は。
答 ガイドラインを庁内掲示板に掲載し、施設管理には、使用化学物質などの成分情報を市ホームページへ掲載する時に周知している。

問 会議の委員に子育て中の保護者を加えては。
答 審議会の改選時に市民公募も行うので応募を期待したい。



子ども子育て会議に当事者の声を

問 会議の委員と子育て中の保護者との意見交換会を設けては。
答 今後の審議会の運用の中で検討したい。

発達支援センターの機能充実を

ふくおか市民政治ネットワーク／高原 由香

問 面談や相談に対する体制は。
答 特別支援教育士の資格をもつ保健師など、専門職種の特性を生かしチームで対応している。

問 受付時間の延長や土日祝日の開設は検討できないか。
答 相談には時間外も対応している。関係部署や学校などの連携も必要

問 事務所入口がわかりにくいので何か工夫はできないか。
答 職員が積極的に出迎えるよう心がける。



発達支援センター入口

その他の質問
より良い学童保育を。

総合スポーツ公園の整備を

とびうおクラブ／森田 卓也

スポーツによる健康づくりは市の重要施策と考
える。しかし、本市のス
ポーツ施設は老朽化が進
み、増える利用者に対応
が難しい状況である。

問 スポーツ施設を推進
する上で、その拠点とな
る総合体育館を新築して
はどうか。

答 施設整備には大きな
財源が必要で、財政面や
運用面で総合的に整理す
る課題が多い。既存施設
民間施設の活用なども視
野に入れながら、第2次
スポーツ推進計画策定に
合わせて、施設のあり方
を検討する。



本市の離島振興計画の進ちょくは

宗像志政クラブ／神谷 建一

問 燃料費の高騰、漁獲
量の減少など水産業を取
り巻く環境は悪化してい
る。離島での水産業の再
生は進んでいるか。

答 離島の地域性を考慮
したアツビの陸上養殖な
ど、安定収入につながる
方策を今後検討する。ま
た、水産業の6次産業化
にも取り組む。

問 住み慣れた島で、安
心して暮らしていけるよ
うに医療・介護の充実が
必要。診療所設備の充実
や地島での巡回診療、遠
隔医療などの検討を。
答 大島診療所は、へき
地医療として必要最低限



の設備は整備する。地島
での定期的な診療体制の
整備に向けて医師会との
協議を行う。遠隔医療に
ついては、IT環境の整
備など課題はあるが、今
後有効な方策と考える。
その他の質問
ポイ捨て「三根絶運動
のさらなる啓発活動をお
願いする。

地域ぐるみで高齢者支援を

宗政会／石松 和敏

問 地域ぐるみで孤独死
を防ぐため見守りシステ
ム強化が必要。先進自治
体を参考に、現在の緊急
通報装置に人感センサー
を併用し高齢者を見守る
態勢強化をすべきでは。

答 現在、数社から情報
収集を行っている。新し
いシステムについて調査・
研究を行い、新機能の導
入について前向きに取り
組む。



緊急通報装置

問 災害時に地域住民が
要援護者を支援するため
名簿登載を現在の同意方
式から「拒否の意思表示
がない人」は登載する方
式に変更すべきでは。
答 既に隣近所が顔なじ
みであることや個人情報
の保管について課題があ
るため、台帳整備が進ん
でいない自治会もある。
災害時における要援護者
支援には台帳整備が重要
であり、引き続き普及啓
発に努めていく。
その他の質問
社会資本整備に建設業
の再生を。

海賊と呼ばれる宗像市であれ

宗像志政クラブ／小島 輝枝

本市名誉市民の出光佐
三氏をモデルにした「海
賊と呼ばれた男」が全国
的な大ブームとなってい
る。この期を逃す手はな
い。

問 職員研修に出光興産
OBから話を聞く機会を
設け人材育成に役立てた
らどうか。

答 市制10周年事業とし
て、7月に著者である百
田尚樹氏の講演会を計画
している。市職員をはじめ、多くの市民が出光氏
の生き方、理念を知ること
とは有益と考える。また、
職員の人材育成の観点から
出光興産OBの方によ



る講義も検討したい。
問 全国に市をPRする
手段として映画化の運動
とロケ誘致を提言する。
答 フィルムコミッション
などと連携して、積極
的に働きかけを行っている。
その他の質問
市民に愛し続けられる
宗像ユリックスであれ。

観光施策の見える化を

宗像志政クラブ／吉田 剛

問 観光立市を目指す宗
像のイメージは。
答 民間が主体となり、
本市の素材を生かした宗
像版観光プラットフォーム
が構築、推進され、ま
ちや人が活性化すること。
問 宗像市歴史・観光推
進計画におけるハード事
業は進んでいる。今後の
ソフト事業の取り組みは。
答 観光イベント・広告
PR活動を実施し、集客
活動に取り組む。

問 駅舎、自由通路の改
修の考えは。
答 改修にはJRの協力
が必要。観光拠点、世界
遺産の観点で検討する。
問 駅舎改修において、
JRに市長自ら働きかけ
を行っていく意思は。
答 平井地区の活性化、
駅利用客を増やす取り組
みを進めながら、強く働
きかけていく。



東郷駅北口

循環型社会の確立に向けて

宗像志政クラブ／花田 鷹人

問 今後のごみ削減目標
値はどの程度に設定して
いるのか。
答 一般廃棄物処理基本
計画の見直しに合わせ、
廃棄物減量等推進審議会
で決定していく。

問 新たなごみ減量の施
策はどのようになっている
のか。
答 バイオマスの活用



事業系ごみ適正処理の訪
問指導のほか、新たな施
策についても調査が必要。
問 生ごみ肥料使用の
場として、耕作放棄地や
市保有の遊休地などを活
用できないか。
答 段ボールコンポスト
などでできたい肥の活
用場所の拡大も必要。ご
み減量推進と耕作放棄地
の活用両面から、課題
解決に向けた仕組みづく
りを検討する。
その他の質問
TTP参加で宗像農業
の将来はどのようになる
のか。

河東コミセン入口(東側・南側)の整備を

日本共産党／植木 隆信

コミュニティ・セン
ター河東会館の入口(農
協河東支店側も含め)で
人身事故も起きている。
問 コミセン東側の県道
野間須恵線を広げ、出入
口の拡張整備を。
答 旧国道3号側の出入
口の混雑対策や浸水時対
策として必要性はある。
河東コミュニティ運営協



河東コミセン前の歩道橋

議会など地域住民の意見
を聞きながら検討する。
問 歩道橋を撤去し、信
号の設置を。
答 道路拡幅を県に働き
かけると同時に、歩道橋
の問題を考えていく。
下水管の整備計画を
問 市内の下(汚)水管
は布設後50年近く経って
いる団地があり、老朽化
も進んでいる。維持管理
をどう考えているのか。
答 25年度に下水道管の
長寿命化計画を策定し、
26年度以降、更新工事や
維持管理工事を行ってい
く。

ICTを活用した教育の成果は

市民連合／福田 昭彦

問 市は昨年度から貴重
な予算を使ってICTを
活用した教育を行っている。
特に電子黒板は児童・
生徒が授業内容を理解し
やすく、また興味を持つ
て授業に参加しやすくな
ることを目的に導入され
た。この電子黒板とデジ
タル教科書を使えば、先
生も授業の準備に時間を
かける必要がないのでそ
の分を子ども達と向き合
うことができるが、果し
て実際の成果はどうか。
答 教職員からは、ふだ
ん発表できない子どもが
できるようになったなど
授業改善につながってい



電子黒板による授業 (自由ヶ丘中)

傍聴者アンケートより

6月定例会
傍聴者154人

アンケート内容の一
部を紹介します。

◇議員と執行部の真実
なやり取りが印象に
残った

◇高齢者が元気で過ご
せるようなまちづく
りをお願いする

◇市民ももっと議会に
関心を持ち、意見が
反映される市政にな
ればいいと思った

◇自分たちが暮らすま
ちの方向性が議論さ
れている現場を拝見
でき貴重な体験がで
きた

◇今後も時間を作り傍
聴したい

◇日常生活の身近な問
題で内容がわかりや
すかった

◇市長の答弁が聞きづ
らい

◇若い議員が多いので
元気のある宗像にし
てほしい

◇初めてで緊張したが
勉強になった

◇またゆくり傍聴し
たい

会派の異動

(5月7日付)

福田昭彦議員が「宗政
会」を脱退、「市民連合」
設立

●●● 提出議案と議決結果 ●●●

6月定例会では、市長提案の15議案、請願1件、議員提案の議案1件、意見書3件を審議しました。
全員賛成で可決した議案のうち、主な議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページをご覧ください。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】※末吉孝議員欠席

議案名	内 容
空き家等の適正管理に関する条例の一部改正 ※	空き家の適正管理を促すために、市が所有者に対し助言・指導などができることを規定している条例で、管理不全な状態で放置された空き家などを市が撤去すること（行政代執行）や必要最低限の緊急安全措置ができるように規定を追加する。
地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正 ※	地区計画の区域内における建築物の制限に関して定めている条例で、平成25年4月2日から玄海地域が都市計画区域に指定されたことにより、エコパーク地区など9つの地区計画を追加する。
排水設備改造資金貸付条例等の一部改正 ※	市が実施する貸付事業の対象者から暴力団員などを排除するための条例改正。
平成25年度宗像市一般会計補正予算（第1号）※	歳入歳出をそれぞれ9,220万円減額し、予算総額を338億6,655万1千円とする。主な減額の内容は、国の緊急経済対策により平成24年度に前倒して計上した事業費の減額。

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案名	議員氏名 議決結果	吉田剛	森田卓也	高原由香	安部芳英	岡本陽子	北崎正則	伊達正信	杉下啓恵	神谷建一	岩木久明	花田鷹人	福田昭彦	小島輝枝	新留久味子	石松和敏	小田英俊	植木隆信	末吉孝	花田利和
宗像市内に設置されている「慰霊塔の統合」を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	欠	○
市長等の給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	欠	○
宗像市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	欠	○
宗像市一般職の職員の給与に関する条例及び宗像市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	◆	○	○	◆	欠	○
宗像市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	◆	○	○	◆	欠	○
宗像市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	◆	欠	○
中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書の提出	否決	◆	◆	○	◆	◆	○	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	○	◆	○	○	欠	○

* 吉田益美議長は、議員として議決に加わる権利を有しません。

9月定例会の
日程

日程	内容
9/2月 （議案上程、提案理由の説明）	本会議
4水 本会議（一般質問）	本会議（一般質問）
5木 本会議（一般質問）	本会議（一般質問）
6金 （本会議・大綱質疑）	本会議（一般質問・大綱質疑）
9月 総務常任委員会	総務常任委員会
10火 社会常任委員会	社会常任委員会
11水 建設産業常任委員会	建設産業常任委員会
13金 予算決算第1特別委員会	予算決算第1特別委員会
17火 予算決算第1特別委員会	予算決算第1特別委員会
18水 予算決算第2特別委員会	予算決算第2特別委員会
19木 予算決算第2特別委員会	予算決算第2特別委員会
20金 委員会予備日	委員会予備日
27金 （委員会報告、質疑、討論、採決）	本会議

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載し、市役所でも配布します。
▼予算決算第1特別委員会は一般会計を、予算決算第2特別委員会は特別会計と企業会計を審査します。
▼本会議と委員会は、市内の公共施設や市ホームページで中継しています。

日程

請願・陳情とは

請願・陳情は、市民と議会をつなぐチャネルです。市民は「こうしてほしい」という希望や要望を文書にして、議会に出すことができます。

提出のしかた

件名・趣旨・理由、提出年月日、提出者（複数の場合は代表者）の住所・氏名を書き、必ず押印してください。請願には1人以上の紹介議員が必要で、署名押印をもらってください。（陳情は紹介議員不要）

委員会レポート

宗像市議会には3つの常任委員会があり、それぞれ担当する事務について閉会中も調査しています。現在調査している内容は次のとおりです。

常任委員会	調査項目
総務	総合計画の策定について
社会	塵芥（ごみ）収集運搬業務について
建設産業	水産業の振興と観光施策との連携について

議会豆知識

「本会議と委員会」議員全員が集まって話し合う会議を「本会議」、数人の議員で話し合う会議を「委員会」と言います。本会議で決める前に、委員会では細かい点まで詳しく話し合います。

意見書

2件の意見書案を可決し、関係機関に提出しました。

より豊かな保育・教育制度の拡充と子育て支援制度を求める意見書

【全員賛成で可決】国は子ども子育て新制度の平成27年度施行を目指している。子どもの貧困や保護者の子育ての課題は社会的にも深刻な問題であり、子どもの育ちには十分な検討と配慮が必要である。よって、国においては、子どもの権利を最優先に、国と地方自治体の責任の下で保育制度の拡充が図られるよう、制度施行を拙速に進めないこと、市町村の保育実施責任と子どもの権利を政省令に反映させること、保育施設基準を現行より引き下げないことなど10項目を要望する。

離島へき地から高校進学する生徒への支援を求める意見書

【全員賛成で可決】ほぼすべての子どもが高校進学する時代にあつて、離島・へき地からの高校進学者は通学や居住面で不利な状況にあり、進学先選択の幅が狭くなっている。全ての子どもたちが等しく豊かな教育を受けることが保障されるよう、福岡県に対して①アパートを借り上げるなどして、離島・へき地からの進学者を対象にした寄宿舎を設置②一部の公立高校に併設された寄宿舎を他校でも利用できる柔軟な運用をすることを要望する。

編集後記

私はまだ議員歴9カ月の新人です。議会は言葉や慣習、雰囲気など独特で、一言で言うところ「面白い」。議会で審議している内容は生活に直結しています。そんな近いはずの議会がいまはまだ遠い印象があるので、身近な存在に感じられる議会を目指して情報発信していきます。

（吉田剛）

市議会に関する問い合わせは
議会事務局 Tel 0940(36)1119

市議会のくわしい情報はホームページをご覧ください。

宗像市議会

検索

市議会データ
これって何の数字？

437万円

1年間の政務活動費です

議員は、調査研究その他の活動のための経費として、1人あたり月2万2千円の政務活動費が交付されます。平成24年度は、議会全体で約437万円の政務活動費が使われました。

調査研究費	27.7% (121万円)
資料作成および資料購入費	36.6% (160万円)
広報および広聴費	30.2% (132万円)
事務所費	5.5% (24万円)

*金額は千円単位を四捨五入

内容を確認するには？

何にいくら使ったか、議員は領収書や報告書などの書類を添えて収支報告します。これらの書類は議会事務局で閲覧できます。各議員の支出概要は市議会ホームページで公開しています。

意見書

2件の意見書案を可決し、関係機関に提出しました。

より豊かな保育・教育制度の拡充と子育て支援制度を求める意見書

【全員賛成で可決】国は子ども子育て新制度の平成27年度施行を目指している。子どもの貧困や保護者の子育ての課題は社会的にも深刻な問題であり、子どもの育ちには十分な検討と配慮が必要である。よって、国においては、子どもの権利を最優先に、国と地方自治体の責任の下で保育制度の拡充が図られるよう、制度施行を拙速に進めないこと、市町村の保育実施責任と子どもの権利を政省令に反映させること、保育施設基準を現行より引き下げないことなど10項目を要望する。

離島へき地から高校進学する生徒への支援を求める意見書

【全員賛成で可決】ほぼすべての子どもが高校進学する時代にあつて、離島・へき地からの高校進学者は通学や居住面で不利な状況にあり、進学先選択の幅が狭くなっている。全ての子どもたちが等しく豊かな教育を受けることが保障されるよう、福岡県に対して①アパートを借り上げるなどして、離島・へき地からの進学者を対象にした寄宿舎を設置②一部の公立高校に併設された寄宿舎を他校でも利用できる柔軟な運用をすることを要望する。